



かけはし

令和元年7月（第4号）

公益財団法人 豊島修練会

事務局：成美教育文化会館（内）

TEL:042-471-6600 FAX:042-471-6600

HP「成美教育文化会館」で検索】

環境保護について考えよう！

町の中（奈良公園）でシカが自然のままに生活し、人間と共存しているのは世界でも珍しいことだそうです。ところが、最近、次々と死んでいるそうです。解剖したところ、胃の中にポリごみが詰まっていたそうである。どうやら観光客が放置したポリ袋を食べてしまったらしいのです。可愛そうなことです。



また、海洋ごみが、海の生物の生存を脅かしているそうです。海洋ごみの多くはプラごみだそうです。やはり、プラごみを海の生き物が食べて、胃袋にたまり奈良公園のシカと同様の運命をたどることになるのだそうです。

これらを、単なるマナーの問題やごみ処理の仕方にしないで、根本から考え直し、きちんとしていく必要があります。

ところで、九州は暑く、北海道は涼しいということは、日本人なら誰もが知っています。しかし、今ではこの常識をくつがえし、九州が 28℃で、北海道が 30℃ということが珍しくありません。「どうしたんだろう？」というレベルを超えて、「異常事態」です。

ここらで、真剣に「自然愛護」「環境保全」を考えるようにしたい。目の前にいる我が子が大人になる頃、これから生まれてくる子供が楽しく生き生きと生活できるようにしていくことが「今の大人」のすべきことだと思います。

是非、家族で、近所の人と、友人たちと、学校の保護者会などで話題にしてください。そして、今できることから実行しましょう。

大事なことを思いつくままに書き出してみます。あなたのご意見をお聞かせください。

★地球は、人間だけでなくすべての生物のものでありますから大切にしましょう。

★地球には限りがあるので、自然保護、環境保全に努める必要があります。

★地球環境を現状のまま、あるいはもっと良くして次の世代に渡していく義務があります。

★子供たちに環境を大切にすることを育て、人間の役割を理解し、環境を大切にする実行力を育てましょう。

<備考> [成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。一度、覗いてみてください。

活動紹介!

東久留米童謡コーラス

本サークルが、会館で活動を始めてから、5年になります。月2～3回、毎回20名程の会員が集まり、懐かしい童謡をみんなで歌います。季節ごとの歌集があって、その時期にふさわしい歌を歌います。今は梅雨なので、「雨ふり」「雨」「かたつむり」などを歌っています。

先生は将来プロを目指す若き音楽家で、毎回、いろいろな方がいらして、伴奏・指導をしていただきます。



7月の催しから

- 7(日) 10時～
中辻ピア / 教室発表会
- 13(土) 10時～
高尾ピア / 教室発表会
- 14(日) 10時～
ぴあトーンピア / 教室発表会
- 15(月) 10時～
谷戸幼稚園ピア / 発表会
- 20(日) 10時～
川野ピア / 教室発表会
- 21(日) 14時～
東久留米児童合唱団そよかせ
第10回サマーコンサート



- 27(土)28(日) 10時～
ヤマハピア / 教室発表会
- 28(日) 13時30分～
楽茶会「名水点」

会館事務室から



今月の話題…雨

梅雨の最中です。日本は、地域や季節による差はあるものの、世界平均の約2倍も雨が降る雨国です。当然、雨とのかかわりも多く、日本人は雨の微妙な違いを情緒豊かに感じ取って、それを言葉に表してきました。一説によると、雨の表現は400を超えと言われます。ほんの一例として、

- ・ 翠雨(すいう) → 青葉に降り注ぐ恵みの雨。
- ・ 篠突く雨(しのつくあめ) → 細い竹や篠で突くような激しい雨。
- ・ 肘笠雨(ひじかさあめ) → 急に振り出した雨。
- ・ 白雨(はくう) → 夏の夕立。または、明るい空から降る雨。
- ・ 膏雨(こうう) → 農作物を潤す雨。
- ・ 霖雨(りんう) → 連日降り続く雨。

雨の降り方の様子の他に、その時の感情を雨に込めた言葉もあります。

- ・ 遣らずの雨(やらずのあめ) → お客を帰したくないように降る雨
- ・ 涙雨(なみだあめ) → 悲しい時に降る雨 等々。たくさんのこうした情緒溢れる味わいのある言葉を次世代に伝えていきたいものです。



